

9 月 9 日：週末の VN 指数は反発。支援材料を受け、週明けのマーケットは上昇か。

安定したマクロ経済、そして世界の経済社会情勢の前向きな改善を受けて、週明けのベトナム市場は上昇することが予想される。1,285 ポイント付近は 9 月のベトナム株式市場にとって重要なポイントとなっている。

週末のホーチミン市場の VN 指数は、1.15% 高の 1,248.78 ポイントで取引を終えた。

同指数は週間で 2.48% 下落した。ホーチミン市場の先週 1 日当たりの平均売買高は 6 億 2,880 万株で、平均売買代金は 15 兆 3,000 億ドン（6 億 5,040 万米ドル）だった。

最近発行された 9 月の投資戦略レポートで、SSI 証券のアナリストチームは「国内のマクロ経済はポジティブな動きを示している」と話す。

「8 月の経済データは予想よりも好調であり、2022 年の 7% の GDP 成長目標を早期に達成している。またインフレは引き続き抑え込んでいる。そして製造活動は引き続き伝統的な輸出セクターによって支えられ、国内消費も好調が続くと思われる」（SSI 証券）

市場はベトナム中央銀行が規制している商業銀行への貸出残高の上限、そして為替レートの変動に引き続き注目している。さらに連邦準備制度が利上げを継続すると予想されることから、ベトナム中央銀行の政策にも注目している。

アナリストチームは、特にドル高トレンドといった、外部リスクが依然続いていることを踏まえると資金流入における圧力を取り除くことは難しいことから、短期的な投資資金の流れに関して引き続き中立な見方を示している。

しかしベトナム中央銀行は、安定的な為替の環境を維持するための対策を取っており、ベトナム株式市場は長期的な成長が予想される。

また投資レポートは米国市場の下押し圧力がベトナム株式市場に影響を与える可能性についても言及した。9月の株価指数のトレンドは、VN 指数が 1,285 ポイントの上値抵抗線を再び試す結果に影響するだろう。

もし VN 指数が 1,285 ポイントを上抜けるなら、VN 指数は 1,300～1,310 ポイントまで回復するだろう。反対に、もし VN 指数が 1,285 ポイントを下抜けるなら、1,220 ポイントが同指数の下値抵抗線となるだろう。

「2日続落した後、VN 指数は一度 1,230 ポイントを割り込み、その後すぐに反発した」（ベトドラゴン証券）

「現在、VN 指数はローソク足で下髭をつけており、テクニカル面で今後回復に向かう可能性を示している。しかし資金流入は依然弱く、低い出来高に現れている。そのため、VN 指数が 1,260～1,265 ポイント付近で上値が重くなる可能性を引き続き考える必要がある」（同証券会社）

「今のところ、株式市場を再評価するために投資家は引き続き落ち着いてマーケットにおける需給の動きを観察するのが良い。しかし途中で、この回復期を投資に生かすことはリスクを軽減するために依然として賢明だ」（同証券会社）

「安値を掴むために取引終盤に資金流入が増えたため、VN 指数は下髭を伴って週末の取引を終えた。さらに出来高のほとんどが大型株に由来しており、50 日移動平均線より上で指数を安定させる動きが見れる」

「このシグナルとともに、マーケットは今後良い回復時期を迎えると予想される。しかし短期的に 1,285 ポイント付近の上値抵抗線で、VN 指数が下げる可能性にも注意を向けるのが良い」

「それゆえ、投資家は回復し、50 日移動平均線を保っている銘柄を徐々に買うことができる。同時に上値抵抗線から引き続き下落するリスクがまだ存在するため、弱い株を売るために高値圏を待つことも良い」

ベトナム証券預託機関データによれば、8 月の新規口座開設件数は 152,873 件で、これは 2021 年 11 月以来の低い水準となった。そのうち国内個人投資家の新規口座開設件数は 152,398 件と前月と比べ 22.1%減だった。

8 月末までに、国内個人投資家の総口座数は 640 万口座。今年 8 カ月で、国内個人投資家は 220 万口座を開設している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。